

一方、金属繊維を充填したコンパウンドで一般に懸念される成形機ならびに金型の摩耗については、サステックの使用実績の一例としてつぎのようなユーザー実績があるので紹介する。

射出成形機の場合、窒化処理された射出シリンダーの摩耗量は、一般に使われるガラス繊維充填コンパウンドと比べ、おおよそ1/5以下、またプリハードン鋼で製作された金型については、3万ショット使用後の時点で製作時とほとんど変化がないという。この点について特に問題のない成形材料であることがわかる。

3 導電性

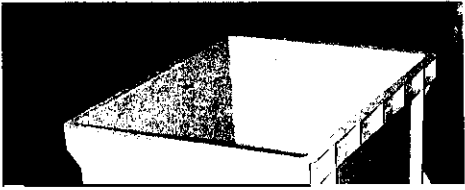
5 用途

Table 3 にサステックの応用例を示す。

現在、応用製品として実績が出はじめているものに、半導体の熱処理工程で使用される耐熱トレイならびに出荷用の汎用トレイがある。耐熱トレイは繰り返し使用ができることと、他の工程も含めて各種ラインで使われる関係上、特に厚さ（成形厚にきつ）の基準が

設けられているが、ユーザーから好評を得ている。

その他、電子回路基板あるいは電子部品のシステム倉庫用の導電性コンパウンド（エポキシ樹脂）は実績がある。



6 おわりに

サステックは樹脂と当社の素材であるステンレスファイバーを複
合化した従来にない新しいコンパウンドであり、優れた導電性、環
境性、メンテナンス性、加工性を兼ね備えた製品を実現しております。